



Q・農業経営者育成に向け 優良農地の保全展開を

A・提案があれば検討する

Q

平成22年のデータになるが総農家数243戸。総世帯数は5,828戸であり、農家比率は4.2%であった。数字が示すとおり近年特に宅地化が進み、農家離れは増加している。

そこで、農家の方に情報提供も含め問う。農地減少と共に農業をする人が減少しているという問題の解決策を調べていると、第4次総合計画の特産品開発に目がとまった。

「農産物の付加価値化・特産品化を進めることにより、農業経営の安定化を図る」とあった。

農業を続けていくことが厳しい中、農業をする人たちに向けヒントとなるような具体策があれば聞きたい。

A 産業建設部長

町としても、今のところ具体策はない。

これは、特産品を生むには適さない土地柄でもあり、思い当たらない

ところである。もし、農家を続ける皆様の提案があれば検討していきたい。

Q・農を活かしたまちづくりに

A・コミュニケーションの場として活用

Q

農を活かしたまちづくりに、町民農園事業がある。野田・神戸・青山の3農園に計90区画があり、100%の利用枠で7から10名ほど待機中と聞く。

そこで、待機者にとのように対処されるか尋ねる。

A 産業建設部長

現在100%の利用状況である。待機者については、辞退の方でたら即、待機者へ登録順に連絡する。随時受付処理を行って、待機者を少なくしている。



楽しい野菜づくり—神戸農園

この事業は、農業者以外の方を対象に農に親しんでもらう。また、

コミュニケーションの場としても活用している。